



おひさま Vol.11

2015年12月



地方独立行政法人
加古川市民病院機構
Kakogawa City Hospital Organization

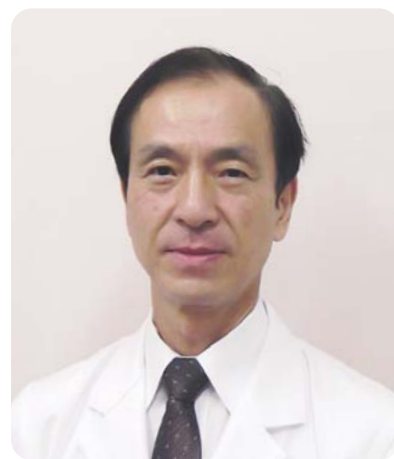
加古川西市民病院 Kakogawa West City Hospital
〒675-8611 加古川市米田町平津384-1
TEL:079-432-3531(代) FAX:079-432-3672

加古川東市民病院 Kakogawa East City Hospital
〒675-0115 加古川市平岡町一色797-295
TEL:079-437-2515(代) FAX:079-437-3806

●前倒して動きだした東西一体の「消化器センター」 -新病院に向けて-

加古川西市民病院 副院長 兼 消化器内視鏡センター長 兼 消化器内科統括部長：寺尾 秀一

私が東市民病院の前身である神鋼加古川病院に赴任した7年前には、今の東西両市民病院の統合など想像さえできなかったことでした。歴史や文化土壌の異なる2つの病院が垣根を越えて、こうして間近に新病院の開設にこぎつけられたのは、ひとえに、地域の皆様のご理解とご支援があったからこそだと考えます。この新病院の建設の意味は、単に器を大きくして高機能化を進めるということではありません。大切なのは人材育成という視点です。今、日本国中の少ないところで人材確保、とりわけ医師確保が大変な事態になり、ひいては地域医療が崩壊しかねない事態が見受けられます。ですからこの播磨地域で持続可能で安定した医療供給体制を確保するために、この新病院がしっかりとその役割を担うことが必要だと考えます。



さて、今年4月に加古川東市民病院の消化器内科常勤医4名が、西市民病院に移動し、加古川西市民病院と加古川東市民病院が一体となって運営する市民病院機構の「消化器センター」が前倒して動きだしました。診療の効率化と技術集積をすすめ、消化器領域の診療レベルの向上を意図したためです。同時に、救急診療など地域の皆さまから要望の強かった需要に積極的に貢献したいとの思いもありました。おかげさまで、ご紹介いただいた方の精査・治療に関しては、十分とはいかないまでも従前よりは飛躍的にご要望にお応えできるようになったのではないかと自負しております。しかし一方で、地域のとりわけ東市民病院近隣の先生方には、遠方になることでご迷惑をおかけすることとなったことを改めてお詫び申し上げる次第です。

新病院では、この「消化器センター」の機能をさらに拡充していきます。具体的には、食道・胃・大腸の早期癌に対する内視鏡治療の診療レベルをさらに向上させる、外科との連携で低侵襲治療にさらに取り組む、EUS-FNAやERCPなどの胆膵領域の診断・治療をさらに推進させる、吐下血や急性腹症などの消化器領域の救急診療に引き続き取り組むことなどです。

また、新病院では「がん集学的治療センター」の機能も発揮しなくてはなりません。ここでも消化器領域は最も重要な領域です。放射線科を含めたすべての診断・治療手段を体系化するとともに、化学療法、緩和ケアなど総合的ながん診療機能を強めていきたいと考えております。

しかし同時に、私どもだけで診療機能が全うできるはずがありません。地域の皆様方との連携をこれまで以上に重視し、患者サイドからみれば生涯にわたるトータルなケアを保障できるよう、協力し合えるようさらに努力していきたい所存です。

微力ながら地域の消化器診療の砦として貢献していきたいと考えています。どうかこれからも変わらぬご支援・ご指導を、よろしくお願い申し上げます。

西

●乾癬は皮膚だけでなく全身の炎症性疾患としてとらえて治療を行っています

加古川西市民病院 皮膚科 主任医長：山田 陽三

乾癬は、表皮細胞の異常な増殖により表皮が肥厚し積み重なった角質が鱗屑としてポロポロとはがれていく慢性皮膚疾患です(図1)。日本における有病率は0.1%といわれ、皮膚疾患では、アトピー・かぶれ、水虫、蕁麻疹、ウイルス性疣贅について多い疾患です。最近TNF α 、IL-12、IL-23を中心としたサイトカインが病態形成に関わっていることがわかり、統計学的にメタボリック症候群が多く、心筋梗塞のリスクも高いことが報告され、乾癬の病変内に浸潤する細胞や表皮細胞がTNF α 、IL-12、IL-23などの炎症性サイトカインを産生し、肥満では脂肪組織でTNF α の産生が亢進し、それらが相まってインスリン抵抗性が促されたり、血管内皮細胞の機能障害を引き起こし動脈硬化に至り、最終的に心筋梗塞または脳梗塞へとつながっていくと考えられています。また乾癬には関節変形をきたす乾癬性関節炎の合併もみられます。

乾癬の治療として、外用療法(ステロイド、ビタミンD3)、内服療法(ビタミンA、シクロスポリン)、紫外線療法、生物学的製剤、顆粒球吸着除去療法があります。生物学的製剤は、上記のサイトカインをターゲットにした治療で、乾癬を全身性炎症性疾患として治療していくにあたり最適な治療薬です。2010年より乾癬に対して、レミケード®、ヒュミラ®、2011年よりステララ®、2015年4月よりコセンティクス®といった薬剤が保険適応となりました(表1)。一方、薬価が非常に高く、重篤な副作用(結核、ウイルス性肝炎の悪化、間質性肺炎、細菌性肺炎など)も稀にありますので、結核や悪性腫瘍、間質性肺炎、ウイルス性肝炎のスクリーニングをして慎重に投与しています。

当科は、副作用発現時に呼吸器内科、放射線科などのバックアップ体制も整っており、生物学的製剤の使用が可能な施設です。糖尿病、肥満などのメタボがあって乾癬の皮疹がある患者さんや、リウマチのような関節症状と上記の皮疹がある患者さんなどございましたら、一度当科にご紹介いただきましたら幸いです。

図1

表1

	インフリキシマブ (レミケード®)	アダリムマブ (ヒュミラ®)	ウスキシマブ (ステララ®)	セクキシマブ (コセンティクス®)
標的 (構造)	抗TNF- α 抗体 (キメラ型)	抗TNF- α 抗体 (完全ヒト型)	抗IL-12/23p40抗体 (完全ヒト型)	抗IL-17A抗体 (完全ヒト型)
投与形態	静脈注射	皮下注射	皮下注射	皮下注射
投与量	5mg/kg	初回80mg、以後 40mg(80mg増量可)	1回45mg (90mg増量可)	1回(300mg)
投与間隔	0、2、6週、以後8週 間毎	2週間毎	0週、4週、以後12週毎	0週、1週、2週、3週、 4週、以後4週毎
効果とその 発現	きわめて早い PASI 75 80%	早い PASI 75 70%	やや遅い PASI 75 70%	PASI 90 80%
効果減弱	多い(中和抗体の 発現のため)	比較的少ない	比較的少ない	?
投与時 反応	Infusion reactionに 注意	ほとんどない	ほとんどない	ほとんどない
重症 感染症	十分な注意が必要	十分な注意が必要	使用経験が比較的浅 いが、安全性が高い	TNF α 阻害薬と比べ ると安全性が高い
薬価	100mg 100,539円	40mg 71,097円	45mg 426,552円	150mg 73,122円
年間薬価	2,412,936円	1,919,619円	2,559,312円	2,486,148円

PASI75=皮疹が75%消退した割合 PASI90=皮疹が90%消退した割合

●感染防止に貢献する検査室を目指して

加古川西市民病院 臨床検査室 主任技師長(ICMT感染制御認定検査技師)：秋篠 達也

2014年、西アフリカで猛威をふるったエボラ出血熱は皆さんの記憶にも新しいところだと思います。日本では、このエボラ出血熱(他6疾患)は「感染症法」という法律によって一類感染症に分類されています。また結核などの7疾患は二類、O-157などの5疾患は三類という具合に、主に危険度の高い順から一類～五類感染症に分類されます。通常、一般の医療機関で一類感染症が発生することはありませんが、結核やO-157といった感染症は散見されます。一方、多くのワクチンが開発され、様々な感染症を撲滅できるようになりましたが、また新たな感染症が大流行するかもしれませんし、依然、冬季になればインフルエンザやノロウイルス感染症は多数発生します。こうした感染症が病院内に蔓延しないように、初発患者を迅速に診断するのも検査室の役割のひとつです。



(左から：宇都宮、秋篠、水阪、杉本)

さて、近年では「多剤耐性菌」という言葉がマスコミにより報道される機会が多くなりました。皆さんも良くご存じのペニシリンという抗生物質の発見に始まり、人類は幾多の抗生物質を開発してきましたが、細菌やカビなどの微生物は、それらに“抵抗する力”を身に着け「より強い子孫」を残そうとしています。さらに、最近では「MRSA」以外にも「VRE」や「MDRP」、「CRE」といったアルファベットで表現される多剤耐性菌が新聞に掲載されることも珍しくなくなりました。そして、癌や糖尿病、手術後、あるいは免疫機能が低下した患者さんにとってこれらの多剤耐性菌による感染症は時として驚異となります。私たち検査技師は、こうした細菌やカビをはじめ、感染症の原因微生物をより早く、確実に検出し、適正な抗生物質等を選択できるように情報を提供するのが仕事であり、医師、看護師、薬剤師らと連携しながら、伝播を阻止し、封じ込めるための重要な役割を任されています。

現在、当院の臨床検査室(全25名)の微生物分野は私を含む4名の技師が担当しており、東播磨地域においては最も充実した検査室です。しかし、診断が難しい感染症は数えきれないほどあり、専門の検査技師としてさらに努力しなければならないと考えています。

新病院(東西統合)ではそうした多くのご要望に応えられる臨床検査室を目指したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



(細菌培養判定、塗抹鏡検)



(安全キャビネット内での結核菌検査)

● 麻酔科の紹介

加古川東市民病院 麻酔科部長：久次米 依子

加古川東市民病院では、現在心臓血管外科、整形外科、口腔外科、形成外科の手術を行っており、麻酔科は各科の定期手術と緊急手術の麻酔に対応しています。

心臓血管外科、口腔外科は東播地区における中心的な役割を果たしていますし、整形外科は股関節疾患を専門に紹介患者が集まっています。形成外科は皮膚腫瘍だけでなく熱傷、褥瘡、小児の先天奇形に対しても手術を行っています。また口腔外科では、腫瘍を切除すると顔面に大きな変形を生じ患者さんは大変悲しまれますが、形成外科が手術に参加することで、皮弁などを用いて手術後もできるだけ元の顔に近づけるようにしています。従来は局所麻酔で行われていた不整脈治療のアブレーションも、麻酔科医による全身麻酔で行うようになっていきます。



麻酔科は非常勤医師も含めると7名でこれらの麻酔を担当しています。定期手術はもちろん夜間の緊急手術もすべて私たちが行います。それぞれの得意分野を生かして、安全にそしてできるだけ快適に手術を乗り切っていただけるように麻酔計画を立てます。術前検査と麻酔科診察は入院前に外来で行います。麻酔担当医は入院後にお部屋にお伺いするようにしています。循環器系に合併症のある患者さんが多く、手術や麻酔にはリスクを伴うケースがあるのも事実ですが、症例ごとに全身麻酔だけでなく神経ブロックなど最も安全な方法を考えて手術を受けていただくようにしています。

新病院が発足すると外科系はほぼ全科がそろい、安全な手術のために麻酔科は広い知識に基づいて危機管理が期待されると思われます。地域の皆様のご期待に応えられるように研鑽を積んでいきます。

● 1病棟の紹介

加古川東市民病院 看護部1病棟師長：村田 明子



1病棟は、整形外科、形成外科、口腔外科の3つの外科系の診療科で、手術を目的に入院された患者さんの受け入れを行っています。整形外科は股関節人工関節置換術や大腿骨骨折による骨接合術や人工骨頭置換術を行い、大腿骨骨折術後は地域連携パスを使用した治療・看護を行っています。形成外科での難治性潰瘍は、心臓血管外科・循環器内科・整形外科が協力すると共に、看護師・薬剤師・栄養士・作業療法士といったコメディカルとチーム医療を行っています。口腔外科は、顎口腔領域の疾患に対して紹介を頂き診断・治療を行っています。このように複数の科が混在しているため看護師は幅広い知識と技術が必要となります。皮膚・排泄ケア認定看護師と共に病棟内では定期的に勉強会を行い、スタッフが責任を持った看護が実践できるようにしています。手術を受けた患者さんのQOLを考慮し、他職種と連携を取り質の高い医療、看護の提供に努めています。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

●心臓リハビリテーションチームの紹介

加古川東市民病院 循環器内科医長：山名 祥太

心臓リハビリテーション(以下、心リハ)は、患者さん個々に適した運動指導、薬剤指導、栄養指導、カウンセリングなどを行う「包括的疾患管理プログラム」であり、虚血性心疾患や慢性心不全の診療ガイドラインでもclass Iとして推奨され、予後改善効果をもたらす心血管治療法の一つとして認識されています。当院は平成20年に大血管疾患リハビリテーション施設基準(I)を取得後、医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士による多職種で構成される心リハチーム(心臓リハビリテーション指導士3名を含む)を形成し、急性期から維持期に至るまで入院・外来を問わず、急性心筋梗塞や狭心症以外にも心大血管術後や慢性心不全など様々な疾患を抱える患者さんに対して、心肺運動負荷試験を実施し運動耐容能を評価することで積極的かつ安全な心リハを実施しています。患者さん個々に最適なサポートを提供できるように、心リハチームでは週1回カンファレンスを行い、患者さんと定期的面談を実施し、今後さらによりよい心リハ体制の充実を図りたいと思います。今後とも皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



●栄養管理室の紹介

加古川西市民病院・加古川東市民病院 栄養管理室 主任技師長：志水 晃介

栄養管理室は、管理栄養士と調理師が患者さんの治療を栄養面から支えています。栄養状態の改善や維持を目的とする栄養サポートチームや心不全、糖尿病等のチーム医療に参画し、適切な栄養治療を提案しています。

・入院患者給食

患者さんの治療効果を最大限に生かせるよう、お一人おひとりに必要な栄養量、形態に合わせた食事の提供を行っています。また、祝日や季節に合わせた行事食を提供し入院中であっても季節を感じて頂けることを目指しています。

・栄養指導

生活習慣病の患者さんにとっては、食生活改善が治療の一環ですが、食習慣を改めるのは非常に難しいことです。患者さんとよく相談してできることから少しずつ始め理想を目指すようにしています。



現在は、西市民病院・東市民病院の統合に向けて、新病院の厨房設計や食事の提供方法見直しなど様々な準備が日々進められています。入院給食の味や質を高め栄養療法をさらに発展させる予定です。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

外来診療表(加古川西市民病院)

平成27年12月1日現在

新患受付 8:00~11:00 再来受付8:00~11:00

※日程表は随時変更がありますのでご注意ください。

曜日	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合内科	鎮西	白木(大西) (検診二次)		鎮西 (高血圧)	鎮西	宇高(葉) (検診二次)			宇高●	石川(西馬) (検診二次)	
糖尿病内科	浜口		楯谷		高山●		楯谷●		楯谷		
総合内科	西澤● (消化器)				名村●		山根● (リウマチ・膠原病)		西澤● (消化器)		
消化器内科	田村● 長谷川		古松● 中村●		久禮● 孝橋●		寺尾● 山城●		當銘		
呼吸器内科	西馬●		植田●		竹中●	禁煙外来(2週毎)	西馬●		植田●		
循環器内科			大西●		白木●		石川●		白木●		
腫瘍・血液内科	岡村		川本		岡村		岡村		岡村		
リウマチ・膠原病科	田中●		山根●			葉	田中●		葉●		
腎臓内科			藤井(第2)			西(第4)					
フットケア外来		担当医		担当医				担当医		担当医	
緩和ケア外来				担当医							
検査	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	
精神神経科	診察	担当医● 1.河野 2.吉住 3.蓬萊	担当医● 1.河野 2.吉住 3.船山		担当医● 1.西村 2.吉住 3.北		担当医● 1.河野(物忘れ外来) 2.内藤 3.松山		担当医● 1.河野 2.吉住 3.新光		
	検査	新開 心理検査(予約)					増田 心理検査(予約)		服部 心理検査(予約)		
放射線科	検査	土師 放射線治療	診察はありません		清水		土師 放射線治療		土師		
	検査		特殊撮影	特殊撮影	消化管透視	特殊撮影	特殊撮影	特殊撮影	消化管透視	特殊撮影	
		MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	
小児科	診察	1.親里●	中尻 小児神経	1.西山●	横田 発達フォローアップ	1.沖田●	西山 代謝	1.榎林●	森沢 発達フォローアップ	1.米谷●	榎林 アレルギー
		2.沖田	森沢 発達フォローアップ	2.米谷	沖田 小児神経	2.森川	親里 小児神経	2.中尻	予防接種	2.親里	親里 小児神経
		3.橋本	西山 内分泌	3.榎林		3.平田	米谷/大西 発達フォローアップ	3.平田	橋本 アレルギー	3.中尻	森川 発達フォローアップ
		4.澤	村田 神経発達	4.永瀬	平田 アレルギー	4.榎原	乳児検診 シナジス外来	4.金川	野津 腎臓	4.金川	西山 在宅医療
検査			坂崎/佐藤 (大西/塚瀬/澤)循環器	心エコー (佐藤)		心エコー (先演)				佐藤 循環器	
心理	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 若松	岡田 若松	立本 若松	立本 若松	
外科		1.金田●	1.金田 (肝胆膵外科外来)	1.担当医●		1.金田●	1.金田 (肝胆膵外科外来)	1.原田●		1.酒井●	
		2.布施		2.西村		2.森本 3.西原●	3.西原(予約) (乳腺外来)	2.裏川		2.谷	
小児科	久野●	安福(予約)	久野● (予約のみ)	手術	安福●	安福(予約)	安福●	安福(予約)	久野● (予約のみ)	手術	
整形外科	新患	担当医 10:30まで		福田●		代診		奥町●		齋藤●	
	再来	再来診察は ありません。	手術	奥町		再来診察は ありません。	手術	齋藤		福田	手術
脳外科	石原●		山元●		石原●		山元●		診察は ありません。	検査	
産婦人科	初診	1.川口	1.障子	1.藤井	1.太田	1.山田隆	1.山田隆	1.房	1.房	1.障子	1.太田
		2.房	2.藤井	2.太田	超音波	2.伏見	2.伏見	2.山田愛	2.川口	2.山田隆	2.伏見
		3.山田隆●	手術	3.山田愛● (2・4週)		3.藤井● (1・2週)	手術	3.太田●	手術	3.川口●	手術
	助産外来		助産外来		助産外来		助産外来		助産外来		
耳鼻科	10:30まで 安井 藤原	手術	安井● 藤原	安井(予約) 藤原(予約)	安井● 藤原●	予約検査	手術 (1診のみ) 代診医	手術	安井● 藤原	安井(予約) 藤原(予約)	
眼科		1.原● 2.盛 3.下山 4.辰巳	子供外来 (田岡/楯谷/辰巳)	1.楯谷● 2.田岡● 3.別所 4.糖尿病外来		1.下山● 2.盛(11:00~) 3.原 (第1週は休診)	検査	1.下山 2.楯谷 3.別所● 4.藤岡	コンタクト(下山) 術前検査	1.別所 2.楯谷 3.原● 4.盛	術前検査 未熟児眼底 レーザー治療
		(小児手術)	手術 レーザー治療	(手術)	手術 レーザー治療	手術 レーザー治療	手術 レーザー治療	(手術)	手術 レーザー治療		手術 レーザー治療
泌尿器科	担当医●		担当医●			手術 (診察はありません)		担当医●			
	岡	検査	安福	検査 第2・4 ED外来				岡	検査	安福 10:30まで	手術
皮膚科	1.山田●	検査	1.山田	検査	1.山田●	手術	1.山田	岩谷(形成外科) (2,4週)予約のみ	1.山田●	手術	
	2.五木田		2.五木田●		2.五木田		2.五木田●	検査	2.五木田		

インターネット予約枠 ● 病診連携医師 ★ 診療の都合上、診療医が変更となる場合がありますのでご了承ください。
 ※精神神経科の初診受付は完全予約制になります。

●外来診療表(加古川東市民病院)

平成27年12月1日現在

科	診察室		月	火	水	木	金	
内科	11	午前	安田	中村	清水	笠原	角谷	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~ ※12診午前の消化器内科は予約のみ 午後 診察 13:00~再診(予約)のみ ※呼吸器外来、腎臓内科、神経内科 受付 13:00~15:00 紹介のみ(要FAX予約) ※禁煙外来(予約制) 火曜日 25診 15:30~16:30 ※専門外来の表示のないものは循環器内科
		午後	*	中村 末梢血管外来	清水	笠原	角谷	
	12	午前	寺尾 消化器内科	担当医 消化器内科	山城 消化器内科	佐藤 消化器内科	担当医 消化器内科	
		午後	*	*	*	羽間 呼吸器内科	*	
	13	午前	高見	本多	中村	古田 高血圧外来	嘉悦	
		午後	高見	本多	*	*	*	
	14	午前	中西	安田	辻	本多	山名	
		午後	*	*	*	後藤 腎臓内科	*	
	16	午後	*	*	山根 リウマチ科	*	*	
	21	午後	梅澤 呼吸器内科	*	*	*	*	
	22	午後	*	*	*	*	担当医 予防接種 14:00~	
	23	午前	*	*	*	*	*	
		午後	松岡	*	*	*	*	
	25	午後	*	笠原	*	*	*	
	27	午前	宇高 予約のみ	*	*	*	*	
33	午前	清水	藤岡 脂質異常外来	鷲田 神経内科	神野 糖尿病外来	*		
	午後	清水	角谷	大西 裕	芳野 糖尿病外来	古和 神経内科		
37	午前	担当医 弁膜症外来	*	中岡	大西 祥 予約のみ	*		
	午後	*	*	*	担当医 ペースメーカー外来	*		
83	午前	吉川 腎臓内科	*	*	*	*		
小児科	72	午前	佐々木	谷中	井上	谷中	三舛	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~ 午後 受付 (藤本先生のみ) 14:00~15:30 診察 14:30~ ※専門外来の診察は再診(予約)のみ
	74		三舛 10:00~	井上 10:00~	佐々木 10:00~	三舛 10:00~	佐々木 10:00~	
	76		*	*	*	*	*	
	72・74		*	藤本 72	*	藤本 74	*	
	72・74		谷中 アレルギー外来 14:30~16:00 74	*	谷中 喘息外来 14:30~16:00 74	井上 心・肝・腎 14:30~15:30 72	担当医 乳児検診 14:00~15:00 74	
	72・76		井上 夜尿症外来 76 14:30~16:00	吉田 夜尿症外来 76 第1・3通 14:30~16:00	*	佐々木 神経外来 76 14:30~16:00	担当医 予防接種 72 14:30~16:00	
外科	21	午前	原田 直	酒井	*	金田	金田	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:30~
整形外科	25	午前	西山	*	西山	織邊	西山	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~ 午後 診察 14:30~再診(予約)のみ
	26		原田 義	*	織邊	熊谷 宏	熊谷 宏	
	25		*	*	西山 股関節外来	*	*	
形成外科	22	午前	北野	*	北野	*	北野	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~ 午後 受付 14:00~16:00 診察 14:30~
	23		岩谷	*	岩谷	*	岩谷	
	22		*	北野	*	*	*	
	23		*	岩谷	*	前田 第2・4	*	
心臓血管外科	27	午前	*	大保	*	脇山	*	午前 受付 8:30~11:30初診は紹介のみ 診察 9:00~ 午後 診察 14:00~再診(予約)のみ
		午後	*	大保	*	脇山	*	
	22	午前	*	*	*	大保 9:00~10:00	*	
	25	午後	*	*	*	泉 聡	*	
産婦人科	83・84	午前	*	山下	*	長又 予約のみ	*	午前 受付 8:30~11:00 診察 9:00~(予約)のみ
《乳癌検診》	83	午後	*	*	*	泉 乳癌検診	*	※乳癌検診(電話予約) 診察14:00~
歯科 口腔外科	91	午前	柚島 石田・辻 (松田)	橘・柚島 辻・松本 (松田)	橘 柚島・石田 (松田)	長谷川	橘・石田 辻・明石 (松田)	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~ 午後 診察 14:00~再診(予約)のみ
		午後	橘・柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	橘・柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	長谷川 14:00~	柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	
放射線科			中村	中村	中村	中村	中村	受付 8:30~
眼科	75	午後	*	*	*	担当医 入院患者のみ	*	木曜日 受付 (入院患者のみ) 12:45~13:45 診察 13:00~14:00

※*は診察がありません。 ※人間ドック 脳疾患検査(月~金)13:00~ 肺癌検査(木・金)13:00~
 ※ の部分が変更箇所です。 ※〈 〉は研修医です。

●加古川東市民病院の地域との連携の取り組みについて

◇第2回在宅連携事例検討会

ひとり暮らしや高齢者夫婦の世帯が多くなり、入退院を繰り返しながら病院で最期を迎える中、急性期病院で患者さんが望まれる「住み慣れた家で生きる」の支援を目指していきたいと考えております。11月12日(木)に第2回目の事例検討会で地域の関係機関のみなさまと意見交換をすることができました。事例検討の後に姫路循環器病センター循環器内科の大石醒悟先生、慢性心不全看護認定看護師の田中奈緒子先生から「明日からできる心不全患者への緩和ケア」と題して講演をしていただきました。新しい知識を得ることができ、医療現場で抱えている課題や今後取り組んでいくべきことを認識する、とても有意義な時間でした。今後も地域のみなさまと意見交換ができるよう、継続していきたいと考えております。



◇第3回東播磨医科歯科連携の会

近年医科・歯科に共通した疾患が増加し、入院中だけでなく在宅療養における口腔機能管理の必要性が高まる中、情報共有と顔の見える関係づくりが重要と考えております。加古川医師会・高砂市医師会・播磨歯科医師会の共催のもと、11月14日(土)ウエルネージかこがわで第3回目の医科歯科連携の会を開催しました。



播磨歯科医師会の小北智継先生に「皮膚科疾患と歯科～歯性病巣感染、金属アレルギー～」、西市民病院皮膚科の山田陽三医師に「薬剤・金属アレルギーについて」と題して講演をしていただきました。地域の関係機関のみなさまと活発な意見交換ができましたことに感謝申し上げます。今後もより良い医科歯科連携を継続できるように考えております。

●加古川西市民病院の診療案内（脳神経外科について）

平成27年10月より、加古川西市民病院にて脳神経外科(火曜・木曜日:山元一樹医師)の診療を開始いたしました。

兵庫県立こども病院や静岡県立こども病院等のべ14年以上の小児脳神経外科専門病院での臨床経験を活かし、地域に貢献したいと思っておりますので、ぜひご紹介ください。よろしくご厚意申し上げます。



脳神経外科
科部長 山元一樹医師

●第4回 加古川西市民病院まつりを開催しました

平成27年10月24日(土)本館1階で、加古川西市民病院で最後となる「第4回病院まつり」が開催されました。今回のテーマは「ウェスタンカーニバル ～新病院への架け橋～」。



素晴らしい秋晴れの下、救急車両の展示、宝殿保育園園児による合唱、はばタンとてるひめちゃんを迎え、大勢の来場者で賑わいました。

イベント会場では、院長による講演をはじめ、大道芸(バルンアート)、吉本芸人山田スタジアムさんによる野球漫談とビンゴ大会、出店コーナーなど、病院スタッフによる様々な企画によって、地域のみなさんとの触れ合いの場となりました。

ご来場・ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。



●平成27年度第2回加古川西市民病院 市民健康講座を開催しました

平成27年10月18日(日)「関節リウマチについて ～関節リウマチと知り合いになろう～」をテーマに市民健康講座を開催しました。

今回は、尾上整形外科の尾上徹先生から「関節リウマチとはどんな病気」、加古川西市民病院 リウマチ・膠原病内科 山根隆志医師から「最近の関節リウマチの治療方法」、リハビリテーション室 時本清己理学療法士から「関節リウマチのリハビリテーション」と題して、それぞれ専門の立場から分かりやすくお話していただきました。

これからも地域住民の皆様健康で安心して暮らしていただけるように、情報をご提供させていただきます。



● 加古川西市民病院 地域連携室 ●

TEL (079) 434-2059 (直通)

FAX (079) 434-2033 (直通)

● 加古川東市民病院 地域連携室 ●

TEL (079) 437-3285 (直通)

FAX (079) 437-3286 (直通)